

サマーセミナー2018報告

入部 百合絵¹⁾, 滝本 裕則²⁾, 青木 義満³⁾

1) 愛知県立大学 2) 岡山県立大学 3) 慶應義塾大学

2018年度のサマーセミナーは、8月22日～23日の2日間、愛知県西浦温泉の【龍城】にて開催された。若葉研究会の発表は22件、チュートリアルセッションでは1件の特別講演をお願いした。参加者数は企業4名、大学教員14名、学生23名の合計41名であった。

1. はじめに

第27回目となるサマーセミナーは、愛知県西浦温泉の【龍城】において8月22日、23日の2日間にわたり合宿形式で開催された。映像情報メディア学会メディア工学研究会との共催は、2004年以来、今回で15回目となる。

サマーセミナーの主目的は、学生や企業の若手研究者など若葉研究者に研究発表の場を提供すること、若葉研究者と研究指導者（企業研究者や大学教員）との交流の場を与えること、両学会の研究室学生諸君、研究者同士の交流を図ることである。

2. 開催準備と実施形態

2017年12月から企画を開始し、両学会で検討を重ねた。共催となってからは両組織が交代で主担当となっており、今回は映像情報メディア学会メディア工学研究会が中心となって開催した。以下に示す企画委員会を設置し、入部企画委員長のもと、青木幹事（メディア工学研究会）、滝本幹事（画像応用技術専門委員会）が中心となって準備を行った。構成は以下の通りである（敬称略）。

画像応用技術専門委員会側

- ・滝本 裕則（岡山県立大学、幹事）
- ・飛谷 謙介（関西学院大学）
- ・小室 孝（埼玉大学）
- ・菅野 純一（ヴィスコ・テクノロジーズ）
- ・森野 比佐夫（ファースト）
- ・輿水 大和（中京大、アドバイザー）

メディア工学研究会側

- ・入部 百合絵（愛知県立大学、企画委員長）
- ・青木 義満（慶應義塾大学）
- ・多田 昌裕（近畿大学）
- ・東海 彰吾（福井大学）
- ・村上 和人（愛知県立大学、アドバイザー）

サマーセミナーでは、若葉研究会での優秀な発表者に表彰が贈られる。優秀発表賞については、以下の11名で構成される優秀発表賞審査委員会を

設置して審査を行った。例年と同様、審査委員会のメンバ全員がすべての発表を聴講することで公正かつ平等な審査を行った。

【優秀発表賞審査委員会（敬称略）】

代表会委員

- ・入部 百合絵（愛知県立大学、企画委員長）
- ・野口 稔（日立ハイテクノロジーズ、画像応用技術専門委員会委員長）
- ・村上 和人（愛知県立大学、メディア学会メディア工学研究会顧問）
- ・滝本 裕則（岡山県立大学、幹事（書記））

審査委員（50音順）

- ・梅田 和昇（中央大学）
- ・輿水 大和（中京大学）
- ・菅野 純一（ヴィスコ・テクノロジーズ）
- ・多田 昌裕（近畿大学）
- ・東海 彰吾（福井大学）
- ・村松 正吾（新潟大学）
- ・山本 和彦（岐阜大学）

3. サマーセミナー報告

3.1 参加者数と開催状況

参加者数は企業4名、大学教員14名、学生23名の合計41名（男性38名、女性3名）であった。御協力頂いた関係各位に感謝申し上げたい。

セミナー会場は100名収容可能であり、ゆとりのある座席の配置であった。スケジュールに関しても、当初の予定通り進めることができた。

3.2 若葉研究会

若葉研究会にて22件の学生発表（申込みは23件、病欠のため1件キャンセル）があった。リラックスした雰囲気でありながら活発な議論となり、どの発表でも質問が多く積極的な情報交換が行われた。座長は、青木 義満氏（慶應義塾大学）、飛谷 謙介氏（関西学院大学）、小室 孝氏（埼玉大学）、北川 正理氏（東京農工大学）、森野 比佐夫氏（ファースト）をお願いした。セッションを非常に円滑

に進行して頂いた座長各位に感謝したい。

3.3 チュートリアルセッション

今年度は「ひろがるビジョン技術の実利用」というテーマのもと、1名の講師に特別講演をお願いした。2日目の若葉研究発表後に、輿水 大和 先生(中京大学名誉教授, YYC ソリューション代表)に、「画像技術の舞台について -日本の産業現場はトップカンファレンス-」と題して、タイトルの通り、大変刺激的な内容のご講演をしていただいた。まず、日米における画像研究の変遷から、現在に至るまでの画像技術研究の学術的、産業的な発展の経緯についてのお話があった。そこから、日本における画像技術の先端研究の舞台は、間違いなく産業現場にあり、その現場に逃げることも無く正面から対峙する学術場こそ、日本のトップカンファレンスである、という大変力強いメッセージを、SSII や VIEW などの学術コミュニティを具体例として述べられた。産学連携や学会長などの立場で、産業現場と常に向き合いながら研究されてこられた輿水先生だからこそ出来る大変貴重なお話で、若葉諸君だけでなく大学教員・企業研究者にとっても今後の学術活動を考える大きなきっかけとなったことであろう。お忙しい中ご講演頂いた輿水先生にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。なお、座長は、伊藤康一先生(東北大学)にお願いした。

3.4 最優秀発表賞

どの発表もレベルが高く、審査員を大いに悩ませた結果、以下の2名の受賞者に賞状とカップが贈呈された(図1)。優秀発表賞のカップは持ち回りで、次のサマーセミナーまで受賞者の研究室に飾られる。研究の励みになることを期待する。

【優秀発表賞受賞者(発表順)】

飯塚 正樹氏(中京大学)

河合 洋弥氏(東北大学)

次点は上田 大氏(東北大学)、神本 恭佑氏(岐阜大学)がオーナブルメンションとして紹介された。

3.5 懇親会

入浴後、宴会場【大潮】にて夕食をとり、休憩を取った後に研究会会場にて懇親会を行った。親密な雰囲気の中、世代を超えたタテの交流、同世代のヨコの交流が行われた。参加者の手土産により潤沢な飲み物・各地名産の食べ物がそろい、恒例となっている手土産の紹介等もあり、大いに盛り上がった。中締め後に場所を移動し、有志参加の2次会が行われ、例年通り深夜まで教員・企業人・学生の枠を超えた歓談が行われた。

4. おわりに

今年度のサマーセミナーも、和やかな雰囲気のうちは無事終了した。図2は、宿のテラスにて、三河湾をバックに撮影した集合写真である。

サマーセミナー2018の準備にあたり、会場設営・運営補助にあたった愛知県立大学、岡山県立大学の学生アルバイト各位、料金設定や会場準備その他でご配慮いただいた【龍城】の皆様には心より御礼申し上げます。また、お世話になった皆様に全員に、紙面を借りて感謝の意を表したい。

今回のサマーセミナーは、画像応用技術専門委員会が中心となって開催する。滝本 裕則 企画委員長(岡山県立大学)を中心に企画を行い、2019年夏に開催する予定である。



図1 優秀発表賞受賞者(右:河合氏, 中:飯塚氏)



図2 サマーセミナー2018参加者集合写真(2018年8月22日 西浦温泉 龍城にて)